

企業名 富士バイオテック株式会社

HP

代表者名：松原 通雄
住 所：富士宮市根原字宝山27
電話/FAX：(0544) 52-0236 / (0544) 52-1372

循環型社会の推進に向けて

有機産業廃棄物を原料に土地改良材としての有機性肥料を製造し、「地域から出る廃棄物を有益な資源に変え、国土を地下から豊かにしていく循環型社会構築の一翼を担っていく」そんな価値ある思いの会社が富士バイオテック(株)です。

社長の松原通雄氏は、先代から受け継いだ産廃処理業から、朝霧高原の牛糞を主とした堆肥の製造に業務転換を図り、地域の課題でもある尿処理について、牛糞を使用した堆肥の商品化に取り組んでいます。

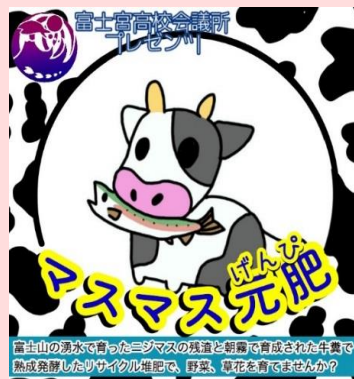
この度、富士宮の高校生が地域作りの活動をしている富士宮高校会議所の、笠井愛莉さん(富岳館高校3年生)の発案で「虹鱒の残渣を肥料に活用できないか」と提案があり、富士バイオテック(株)に相談したところ、朝霧の牛糞とニジマスの残渣を組み合わせた肥料を開発、「マスマス元肥」の名称で商品化しました。成分検査の結果も良好で有機肥料として高い品質を持っているとのこと、今後の販売に期待が持てます。

松原社長は、話の中で「朝霧高原においては、牛糞の堆肥化が産業として成長する事が尿処理の一助となり、未来に向かっての環境の保全につながり、富士山の麓の価値ある自然を守っていく、それこそ循環型社会の構築の目的」との使命感をもって、いろいろな事にチャレンジしています。

(吉野達也)



笠井さん(左)の話を聞く
松原社長(右)



富士宮高校会議所
との商品開発



循環型社会を目指して

詳細はこちら(WEB商工名鑑へ)